



○かたつむりポスト

国語科では「お手紙」の学習が始まりました。40年以上教科書に掲載されており、ご存知の方も多い作品だと思います。

現代では、そもそも手紙を書いたり、もらったりする経験自体が少ないので、物語の世界に没入しにくいと考えました。

さらに、登場人物たちは4日間もお手紙を待ちますが、そこまで待ち焦がれることも多くはありません。

そこで、まずはお手紙をもらった時の気持ちを実感してもらおうと、担任で子どもたち全員にお手紙を書きました。

しかし、簡単には届きません。『かたつむりポスト』に入れて、届くのは4日後です。

この宣言を聞いて、子どもたちは大盛り上がりでした。「忘れちゃいそう」と正直な感想を漏らす子もいましたが、毎日「お手紙はまだか」と確認しに来る子もいます。

今日、いよいよそのお手紙を持ち帰ります。

こうしたお手紙をやり取りする経験は、国際交流プロジェクトにも広がり、ウガンダの子どもたちとも行っていく予定です。

デジタルで一瞬でやり取りできる時代だからこそ、あえて手書きで時間をかける経験もいいものです。

文責：小胎

